

③ 教科指導月別評価表 (美術科の例)

第 2 学年				評 価										評 定	反省・改善策
美 術 科				① 時数の進捗	② 内容の到達度	P		D			S				
月	単 元 ・ 題 材	予	実			③ 週案・指導案の作成	④ 教材研究	⑤ 指導方法の工夫	⑥ 思考力を高める指導	⑦ 小集団学習の活用	⑧ 教材・教具の活用	⑨ 授業記録の累積	⑩ 指導法の改善		
	◎風景をかく〔絵〕(14)	5	4	△	△	○	△	△	△	×	○	△	△	55	・ 林の中の風景を主題とする。時数が確保できず進捗が遅れがみ。 ・ 生徒の意欲にも問題がある。意欲を高める指導法を検討したい。
5		7	8	○	×	○	△	○	△	×	○	△	○	65	・ 「美術学習カード」を活用。時数は確保できたが内容の到達にはいたらない。・ まだ意欲が高まらない。
6	◎ポスターのデザイン〔デ〕(10)	8	6	○	○	○	○	○	△	×	△	△	○	75	・ 生徒の実態から「レタリングを中心課題とした心象表現より機能的表現を好む学年であることが作品を通して明確になった。
7		4	24	○	○	△	△	○	△	×	△	△	○	65	・ 夏休みの課題ポスターに生きるよう配慮しながら指導した。・ 意欲の高まりを小集団学習を活用することにより達成できればと模索している。

④ 昭和 年度 教科指導月別評価集計表

評価要素 学期 月	① 時数の進捗		② 内容の到達度		P			D										
	○	△	×	○	△	×	③ 週案・指導案の作成	④ 教材研究	⑤ 指導法の工夫	⑥ 思考力を高める指導								
4	20	12	3	14	20	1	19	16	0	17	18	0	13	21	1	7	25	3

(考察)

S中学校では、年度当初の「教育計画に関する評価計画に基づき、各学期ごとの評価計画が確立され、特に教科指導については月別評価が計画され、各教科で実施している。

その評価の要素はP-D-Sの過程をふまえた要素からなり、3段階評定だが、各自100点満点法なのでわかり易い。各月ごと各教科では反省・改善策が講じられ、全体集計とプロフィール化により次月の指導改善に生かしている。